

2019年3月中旬配本予定

ダヴィッド・ジョップ詩集

夜光社 民衆詩叢書 2

中村 隆之 編 訳

ISBN978-4-906944-17-0 C0092 四六変形(121mm×186mm) 96頁 本体1200円



[帯文]ダヴィッド・ジョップは、サルトルが「黒いオルフェ」と呼んだ黒人詩人の一人である。もともと抑圧者の言語だったフランス語で書かれ、いま初めて日本語で甦る彼の詩は、過去の奴隷制度の記憶から生まれた苦い叫びであるとともに、彼が目指す黒く輝く母なるアフリカの魂への熱い呼びかけでもある(鈴木道彦)。

デビュー作を含む初期の詩篇と、生前唯一出版された詩集『杵つき』の計二二篇の詩の他、フランス語表現の黒人創作者という自らの立場の矛盾、葛藤を超えてアフリカ独自の文化創出を構想する詩論「国民詩論争への寄与」等の散文四篇を収録。また、日本ではほとんど知られていないこの詩人の生をたどった編訳者書き下ろしの評伝を加えた、ダヴィッド・ジョップ詩集の決定版

ダヴィッド・ジョップ (David Diop)

1927年、ポルドー生まれ。アフリカの詩人。1960年、飛行機墜落事故で死去。享年33歳。詩集に『杵つき』(プレザンス・アフリケーヌ社、1956年)がある。

中村 隆之 (なかむら たかゆき)

1975年、東京都生まれ。早稲田大学法学学術院准教授。主な著書は『エドゥアール・グリッサン』(岩波書店、2016年)、『カリブ-世界論』(人文書院、2013年)、主な訳書にエドゥアール・グリッサン『痕跡』(水声社、2016年)、同『フォークナー、ミシシッピ』(インストラプト、2012年)、他。

白人は親父を殺した
親父が気高かったからだ
白人はお袋を犯した
お袋がきれいだったからだ
白人は兄貴を炎天下の道々でこき使った
兄貴が強かったからだ
それから白人はおれのほうを向いた
やつの両手は赤い血染めだ
黒人の
おれの顔に侮蔑を吐きかけた
そして主人気取りの声で
「おい、小僧、タオル、水だ！」
—— 殉教者の時

▶ご注文はツバメ出版流通まで **FAX 03-3721-1922** TEL:03-6715-6121

<http://tsubamebook.com>
mail: info@tsubamebook.com

貴店名 (番線印)	夜光社 民衆詩叢書1		返品条件付注文扱い	返品了解	ツバメ出版流通: 川人
	既刊	2018年6月刊			
ご担当: 様	冊	サラム ひと 崔真碩			
		ISBN978-4-906944-15-6 C0092 四六変形(121mm×186mm) 約120頁 本体1100円			

貴店名 (番線印)	夜光社 民衆詩叢書2		返品条件付注文扱い	返品了解	ツバメ出版流通: 川人
	新刊	ダヴィッド・ジョップ詩集			
ご担当: 様	冊	中村 隆之 編 訳			
		ISBN978-4-906944-17-0 C0092 四六変形(121mm×186mm) 96頁 本体1200円			